

がまこおり 議会 だより

9 月市議会定例会

一般質問…ここが論点……………	2～ 7
議決された主な議案……………	8～ 12
令和 2 年度一般会計決算 417 億 936 万円	
議決された主な議案、委員会通信……………	13
議会日誌、12 月定例会予定等……………	14

NO. 113
2021.11



形原漁港大橋（ブルーブリッジ）



一般質問…ここが論点

9月市議会定例会中、9月3日、6日、7日の3日間で、市政全般について16人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、9月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、蒲郡市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも12月上旬の予定です。

また、インターネット上でライブ中継と録画中継も実施していますので蒲郡市議会ホームページからご覧ください。

一般質問の録画中継は右のコードを読み込むとご覧いただけます。



■ 一般質問

日程	議員名	主な質問の項目
9月3日(金)	牧野 泰 広	コロナ禍における GIGA スクール シティセールス
	大竹 利 信	急傾斜地崩壊対策事業 うつ病対策 ユニバーサルデザイン遊具
	日恵野 佳 代	新型コロナウイルス感染症への対策 大雨による災害への対策 高齢者の介護
	大須賀 林	市の土砂災害対策
9月6日(月)	柴田 安 彦	消費者保護対策 新型コロナウイルス感染症対策
	藤田 裕 喜	市内の保育園における午睡用の布団 障害者優先調達推進法に関する取組
	松本 昌 成	ヤングケアラー支援 帯状疱疹のワクチン接種助成 医療的ケア児支援法の施行 市民通報システムの構築
	尾崎 広 道	西浦地区埋立地 害獣対応 田越しかんがい (田越し水路)
	大場 康 議	新型コロナウイルス感染防止への市の取組
	喚田 孝 博	産業振興基本条例 通学路の安全対策
9月7日(火)	竹内 滋 泰	ボートレース蒲郡 投票率向上の取組 市民憲章制定 50周年に向けて
	稲吉 郭 哲	市民病院の現状と新棟建設 公共交通
	鎌田 篤 司	新型コロナウイルス感染症の現状と対策 ボートレース蒲郡
	鈴木 将 浩	飼い主のいない猫の対策
	新実 祥 悟	巡回バスなどの公共交通拡充 市内 JR 駅のエレベーター設置
	鈴木 貴 晶	スケートボードパークの開設 新図書館建設計画の進捗状況

※[下線付の項目](#)は次ページより質問と答弁の要旨を掲載しています。

牧野泰広 (自由クラブ)

コロナ禍におけるGIGAスクールについて

問 感染拡大の予兆の早期探知のために、教職員のモニタリング検査を行う考えは。

答 現在、学校の教職員、保育園、児童クラブなど、子供と接する機会の多い職業を対象に、PCR検査実施といった内容を含めて医師会の力添えをいただき、それぞれの担当部署が一緒になって、どのような方策が有効か協議を行っており、早急に対応策をまとめていきたい。

問 オンライン授業及びその場合の出席の扱いに対する考え方は。

答 学校休業などで授業時になった場合、オンライン授業を実施していく必要があると考える。現在、実施を可能にするマニュアル作成や研修を行っており、市教育委員会と学校が一体となって、準備を進めていく。



出席の扱いについては、文部科学省によると、オンライン授業で行ったものは、授業数にカウントしたり、出席扱いにしたりすることは、現段階ではできないと考えている。

大竹利信 (公明党市議団)

うつ病対策について

問 市で行われているうつ病を防ぐための対策は。

答 健康がまごおり21第2次計画に、こころの健康づくりの推進として位置づけ、取り組んでいる。

問 メンタルヘルズ不調に悩んでいる方が利用でき



きるオンラインサービス「ココロポ」を広く周知してはどうか。

答 ココロポは、現在研究中のシステムであるため、周知についてはシステムが構築された後に検討していく。

ユニバーサルデザイン遊具について

問 ユニバーサルデザイン遊具に対する考え方は。

答 公園整備は設計の段階から地域住民や障害者団体等からワークショップ等で意見を伺い進めている。

問 市の公園にユニバーサルデザイン遊具を設置してはどうか。

答 利用者ニーズや障害者団体の意見を伺い、遊具の導入可能性とともに、公園のバリアフリー化を検討していく。

日恵野佳代 (無党派・日本共産党)

コロナ禍での学校対応

問 感染の不安を少しでも下げるよう、オンライン授業の選択等に早急に切り替えるべきではないか。

答 今は感染拡大を予防しながら、子供たちの学びを止めることがないようにと考えている。タブレットを利用した学びも当初予定を前倒し取り組んでいる。

問 給食がないことについて市民から怒りが寄せられており、「食事の用意ができない家庭はどうするのか」等の声もある。対応を伺う。

答 まずは9月10日まで給食なしの午前中授業の対応をしている。食事の機



会を最大のリスクと捉え今回の措置を取ることとした。

大雨の災害対策

問 土砂災害警戒区域等の住民に危険が迫ったときの周知方法は。

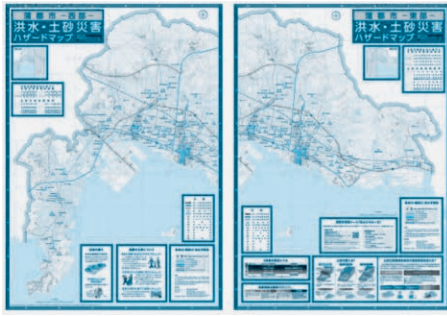
答 防災行政無線や防災ラジオ等で周知を行う。

また、ヤフー株式会社と災害協定を締結し、アプリを利用したプッシュ型の緊急情報の配信等も行っている。

大須賀林 (自民党市議団)

市の土砂災害対策について

問 熱海市で7月に発生した大規模土石流災害は、



洪水・土砂災害ハザードマップ

本市においても起こり得ることである。このような災害に備える体制と取組について、土砂崩壊等のおそれのある箇所の把握状況は。

答 土砂災害警戒区域は242箇所が指定されており、急傾斜地、土石流、地滑りの3つに分類されている。地滑りのおそれがある箇所はない。また、急傾斜地崩壊危険箇所は137箇所となっている。

問 土砂災害の防止、生活環境の保全の観点から、残土の処分や切土による土砂採取を規制する条例を制定してはどうか。

答 県の環境部局において、県内の埋立て等を使用される土砂等に関する環境上の基準を定めるとともに、土砂等の崩落等による飛散及び流出等を防止するための規制を設ける動きが既に始まっていると聞いている。本市には、土砂等の埋立て等に関する条例はないが、県が始めた県内統一的な基準及び土砂等の流出等を防止するための規制の動向を注視していきたい。

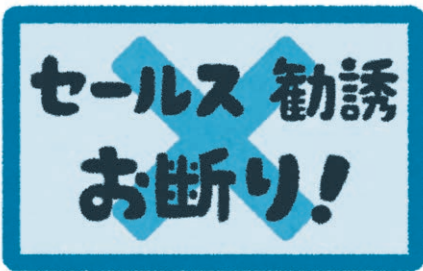
柴田安彦（無党派）

消費者保護対策について

問 特殊詐欺対策として、迷惑電話防止機能付電話機、着信拒否装置、通話録音警告機等の貸与、または買う場合の助成についての市の考えは。

答 西三河地方の市町村などで導入されているので、実施市町村の状況を調査研究し、効果的な実施方法を研究していきたい。

問 5年前の市議会定例会で悪質な訪問販売等を



防止するため、「訪問販売お断り」ステッカーを勧誘拒絶の意思表示とする条例制定を求めたが、東三河広域連合の事務との答弁であった。今年8月の広域連合議会で質問したところ、広域連合の事務ではないとの答弁であった。市の判断と条例化の考えを伺う。

答 今回、広域連合議会に連合の事務の範囲を超えていることが判断された。よって、今後はこのステッカーを貼ることにより法的効果を持たせることでどれだけ効果があるか、市独自の条例制定でより効果的な施策を実施できるかも含めて、研究を重ねていきたい。

藤田裕喜（市政クラブ）

保育園のお昼寝用布団の加熱乾燥消毒について

問 保育園での布団の衛生管理について、アレルギー症状がある等配慮が必要な園児の布団、おねしょ等をした場合の対応など、現状はどうなっているか。

答 布団の管理は園によって異なるが、布団棚等や遊戯室にスペースを作って保管している。アレルギー症状等で配慮が必要であると要望がある場合は別の場所での保管している。布団が濡れたり汚れた場合は、保育士がシーツの水洗いや布団を干しているが、場合によっては保護者に持ち帰りをお願いすることもある。

問 保護者が布団を洗濯等をしてきれいにしているか、把握しているのか。

答 保護者に直接確認は行っていない。

問 加熱乾燥消毒を導入すれば、害虫駆除やカビの発生防止ができるかと考えるが市の考えは。

答 加熱乾燥消毒については、殺菌の効果と安価に利用できるかと理解している。現在の運用を直ちに變更することは考えてないが、導入している私立幼稚園等を参考に研究したい。

松本昌成（公明党市議員）

ヤングケアラー支援について

問 福祉全般に関する包括的な総合相談窓口の設置の取組について伺う。

答 令和4年度中の福祉総合相談窓口と、窓口を支える総合支援チームの設置を目指し検討をしている。



帯状疱疹のワクチン接種助成について

問 接種費用助成の実施について考えを伺う。

答 発症の予防効果が非常に高いという認識はあるため、国の定期接種化の検討をふまえて考えていく。

医療的ケア児支援法の施行について

問 保育園の医療的ケア児の現状と今後の対応は。

答 未就学児のうち、現在医療的ケアが必要な児童は5名と把握している。今後、保育園で医療的ケア児を受け入れる場合はバリアフリー等の施設面の対応や看護師等の配置が必要となる。また、必要な医療行為は児童により異なるため、保護者と相談しながら受け入れられるよう進めていく。

尾崎広道（自由クラブ）

西浦地区埋立地への進出希望企業の状況について

問 進出希望企業の要望とその現状を伺う。

答 漁港内の整備等、改めて検討する事項が生じ、関係者で協議を進めている。

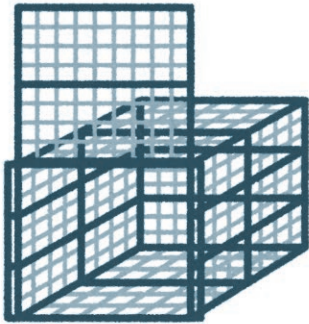
形原駅近くで出没するアライグマについて

問 凶暴で狂犬病感染も危険されるが市の考えは。

答 注意喚起を行い、被害防止に努めていく。

問 小型捕獲おりの箱わなについて伺う。

答 猟友会の方に協力してもらい、市は箱わなを貸し出す。



田越し水路について

問 法令上の規制、既得権等について伺う。

答 水利権が侵害された場合、民法上の損害賠償などの請求が想定される。

問 西浦町的場で公共施設排水が田越し水路に接続されているが市の考えは。

答 道路など公共施設の雨水排水は、道路側溝など公の水路を経て河川へ放流すべきと認識している。

大場康議（自民党市議員）

新型コロナウイルス感染症防止への市の取組

問 重症患者専用病床の市民病院での設置の検討及び抗体カクテル療法の実施について伺う。

答 県緊急病床確保会議で今後の重症者用病床不足の懸念から、これまで重症患者受入実績の少ない医療機関も1床以上確保の調整が図られることとなった。県の要望に応じ、今後19床



市民病院

中1床または2床を設置する方向で準備を進めている。重症化を防ぐものとして期待される抗体カクテル療法は、発症後の速やかな投与が必要であり、対象患者の選定方法や薬の配給体制（県へ常時4人分を希望）等を確認しながら、今後、必要な人に実施していく。

問 自宅療養者の訪問診療等医療連携体制の整備について伺う。

答 既に市内医療機関で電話診療や訪問診療を行っている。また、県実施の自宅療養者への医療提供協力機関の調査結果に基づき



医師会内で連携し、自宅療養者診療体制の構築準備中と聞いている。医師会の協力で自宅療養中も安心して医療を受けられると考える。

喚田孝博（自民党市議員）

産業振興基本条例の制定について

問 本市における産業振興の課題を伺う。

答 産業全般で意思疎通ができる場の必要性が挙げられ、市としても今後は産業界と「対話と会話」を重視し、産業振興施策に取

り組む考えである。

問 条例制定に向けた取組と進め方は。

答 8月に蒲郡市産業振興協議会から条例制定の要望を受け、市として今年度中の条例制定に向け、官民一体となり努力したい。

通学路における安全対策について

問 市の通学路交通安全プログラムの改定されたポイントは。

答 新たに対策箇所図、対策一覧表の作成と公表を追加した。来年2月頃公表していく予定である。

問 通学路は災害時の避難路でもある。危険なブロック塀等は補助額を上乗せしてでも除去に取り組む必要があるのでは。

答 他市の取扱状況や補助制度の見直しの必要性も含め、研究したい。

竹内滋泰（自民党市議員）

ポートレース蒲郡について

問 経営成績と、社会貢献について伺う。

答 令和2年度の当年度純利益は91億円であった。社会貢献として、元年度に防犯灯約6500灯及び道路照明灯約10000灯のLED化を行い、新規設置等を引き続き展開している。また2年度に新型コロナウイルス対策等として一般会計へ41億円を繰り出した。

期日前投票所の充実について

問 今回の衆議院議員総選挙にて、増設の考えは。

答 三谷及び形原公民館で選挙期日直前の木曜日から土曜、午前9時から午後5時まで増設していきたい。



市民憲章制定50周年に向けて

問 50周年を記念し、各種事業を実施する考えは。

答 市民憲章推進の取組や50周年に向けた事業を教育委員会で検討している。市民憲章の理念継承のためにも非核平和都市宣言の制定も併せて考えたい。

稲吉郭哲（自由クラブ）

市民病院の現状と新棟建設について

問 新棟の建設に向けた調査について伺う。

答 調査により新棟の建設が必要と判断した場合、令和4年度に基本設計、5年度に実施設計、6年度に着工を考えている。

問 災害拠点病院の指定の見込みについて伺う。

答 新棟の建設に際しては、災害発生や感染症拡大など非常時における傷病から住民の生命を守ることを掲げている。新規指定を受けけることは大変難しいが、

県や関係機関へ要望を進めていきたい。

公共交通について

問 名鉄西尾・蒲郡線の存続について、西尾市長と蒲郡市長の両トップ会談について伺う。

答 本市からの働きかけで開催した。今後、両市が一丸となって存続に向けた連携を強化していくことで合意した。

問 コミュニティバスの運行日増加について伺う。

答 地元のニーズ等を考慮しつつ、検討していく。



コミュニティバス

鎌田篤司（市政クラブ）

新型コロナウイルス感染症の現状と対策

問 ワクチン接種希望者の接種終了時期は。

答 このまま順調にワクチンが供給され、接種が進めば、11月末までには、終了できるのではないかと考えている。

問 新型コロナウイルス感染症にかかって病院に入れない、自宅療養で大変困っている等、報道されているが、蒲郡市の現状は。

答 現段階で要入院の患者が入院できない等の状況ではない。患者が今後の経過でどうなるかによって病床はさらに逼迫すると考えるが、市民病院は救急患者は断らずにまず診ることになっており、診察後可能な限り病床を探す等治療をしっかりと行う。

問 市長の収束に向けての決意を伺う。

答 市の感染症対策本部で、その時々皆で対応を考えている。その検討結果



が最善の結果を生むべく、しっかり情報、状況を捉え、また市民の声を聞きながら、市民の命と健康を守っていく。ワクチン接種を推進しながら、新型コロナウイルス感染症と闘っていききたい。

鈴木将浩（自民党市議員）

飼い主のいない猫の対策について

問 市等へ寄せられた猫に関する相談や苦情件数ほどの程度か。

答 令和2年度は飼い猫への苦情を含め35件、県動物愛護センター東三河支所には市内の猫に関する件数として相談が100件程度、苦情が50件程度寄せられている。

問 遺棄防止・室内飼育を推奨する広報等は、多くの市民の目に留まり、意識を変えてもらうような工夫が大事なのは。

答 飼い主のいない猫を増やさないための対応策を分かりやすくまとめたチラシを作成し、市民や子供たちに伝えていく。

問 地域猫活動を行う上で、不妊去勢手術の費用負担がある。補助制度を設ける考えは。

答 他自治体を参考にし、補助制度の導入を見据えて、地域の負担が軽減できるように努める。

問 補助制度の財源確保のため、クラウドファンディング活用の考えは。

答 ふるさと納税型クラウドファンディングや寄付を募る方法等を検討する。

新実祥悟（市政クラブ）

巡回バスなどの公共交通拡充について

問 塩津地区の今後について、コミュニティバス導入の方法を伺う。

答 定時定路線型や、隣接する地区の運行を延伸する方法など様々あり、地域と一緒に考えていく。

市内JR駅のエレベーター設置について

問 三河塩津駅への設置の問題点を伺う。

答 1日の平均乗降者数が3000人以上の駅は原則エレベーター等の設置によるバリアフリー化を求められる。2000人以上の駅は、バリアフリー実現のための生活関連施設に位置づけられている場合に対象となる可能性がある。三河塩津駅は令和元年度2824人であり条件に合致しない。また4基必要となるが下り線ホームの幅が狭い等スペースを確保できない。

問 下り線ホームを除く3基設置されれば少くとも利用しやすくなるのでは。

答 バリアフリー化は難しいが、地元要望があればまずはJR東海にその旨を伝えたい。

鈴木貞晶（自由クラブ）

日本で一番楽しいスケートボードパーク

問 実現に向けた考えについて伺う。

答 ボートレース蒲郡では、基本計画を策定中であり、スケートボードパークに限らず、本場活性化、未利用地の有効活用として、鳴門市や大村市等の他の競走場の施設の中で、他部署の実施計画等との整合性や他部署との調整等を行い、よいものは参考にしていきたい。

新図書館建設計画について

問 現図書館の耐震化について伺う。

答 昨年度から将来ビジョンの策定に向けて検討を進めているが、安全確保のため、現図書館の耐震補強についても検討している。

問 電子書籍は新図書館建設に当たっても、計画に大きな影響を与えるものと考えられる。近隣で導入している市と導入後のランニングコストについて伺う。

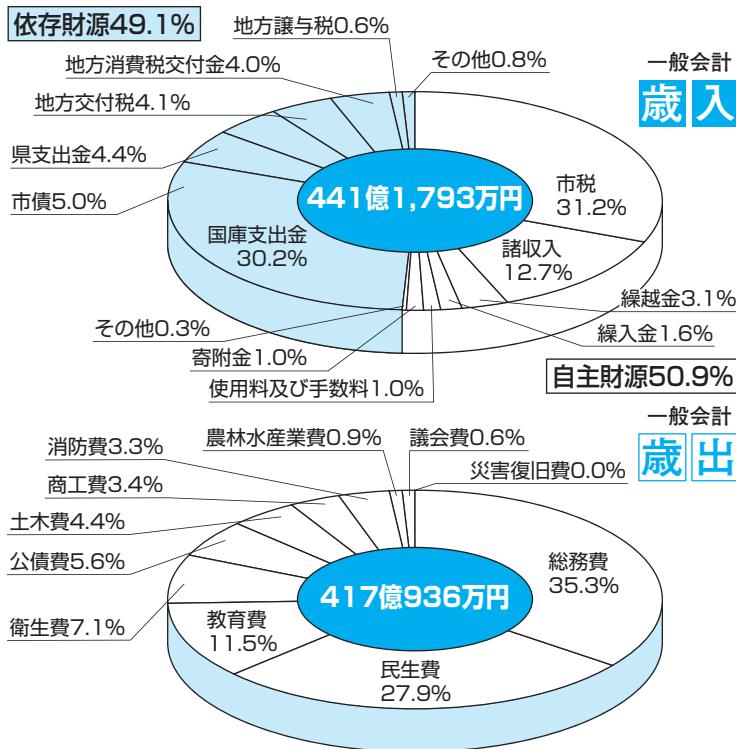
答 近隣では豊川市、西尾市、安城市が導入しており、システム利用料や電子書籍購入費が必要となる。



令和2年度一般会計決算などを 議決

9月定例会
議案

9月市議会定例会は、9月3日から24日までの22日間の会期で開き、議案25件、意見書案3件を審議しました。令和2年度決算の認定など、主な内容をお知らせします。



令和2年度決算

	歳入	歳出
一般会計	441億1,793万円	417億936万円
特別会計	131億8,259万円	111億9,853万円
企業会計		
水道事業		
収益的	19億3,173万円	17億2,383万円
資本的	2億2,876万円	8億5,975万円
下水道事業		
収益的	24億3,118万円	22億526万円
資本的	11億7,570万円	19億9,063万円
病院事業		
収益的	93億5,283万円	87億1,122万円
資本的	7億9,717万円	12億4,372万円
千代田ホールディングス事業		
収益的	1,380億8,366万円	1,288億7,629万円
資本的	0円	16億6,075万円

歳出前年度比136%
一般会計の歳出は、前年度比136%で、歳入は同

令和2年度一般会計決算は、16人の委員からなる決算審査特別委員会（委員長牧野泰広、副委員長藤田裕喜）を9月3日に設置し、9月14日から17日までの4日間にわたり審査しました。

◎ 一般会計
決算審査特別委員会での主な質疑は次のとおりです。

決算審査 特別委員会から

135・6%でした。一般会計の歳入から歳出を引いた額は、24億857万円ですが、この中には翌年度に繰り越すべき財源の5億3682万円が含まれています。これを除いた実質収支額は18億7175万円の赤字です。

特別会計決算（各会計別内訳）

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	70億4,248万円	69億5,165万円
後期高齢者医療事業	22億5,711万円	22億2,393万円
土地区画整理事業	20億3,743万円	10億3,056万円
企業用地造成事業	11億8,479万円	9億3,570万円
公共用地対策事業	5億8,744万円	3,189万円
三谷町財産区	5,966万円	1,421万円
西浦町財産区	1,368万円	1,059万円

※決算認定…議会が一般会計年度の歳入歳出予算の執行実績である決算について、内容を審査した上で確認し、認定することであり、議決事項の1つです。

■ 9月定例会の日程

3日	本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、質疑、討論、採決、一般質問など〕 決算審査特別委員会
6日	本会議〔一般質問〕
7日	本会議〔一般質問〕
8日	総務委員会
9日	経済委員会
10日	文教委員会
14日	決算審査特別委員会 議会運営委員会理事会 議会運営委員会
15日	決算審査特別委員会
16日	決算審査特別委員会
17日	決算審査特別委員会
24日	本会議〔委員長報告、議案・意見書案説明、質疑、討論、採決など〕

■ 歳出
● 総務費

AI活用事業

問 AIを活用した総合案内サービスの利用状況は。

答 令和2年度中の月平均では、質問数が829件、回答率が79・5%、AIが判断した正答率が86・6%となっている。

問 回答内容の改善のため、どう対応しているのか。

答 毎月のログ解析を基に回答率、正答率、どういった質問にどう回答しているかなどを確認し、各課に新規のQ&A作成を依頼する

など回答改善に努めている。
問 どういった部分で業務改善に寄与しているか。

答 AIを活用した総合案内サービスは24時間365日、インターネット上で住民からの問合せに対応している。開庁時間外での問合せが可能となり、迅速な対応により住民の利便性が向上する。また、自動応答であるため、業務効率化に寄与している。

● 民生費

市内旅館・ホテル利用券等配布事業

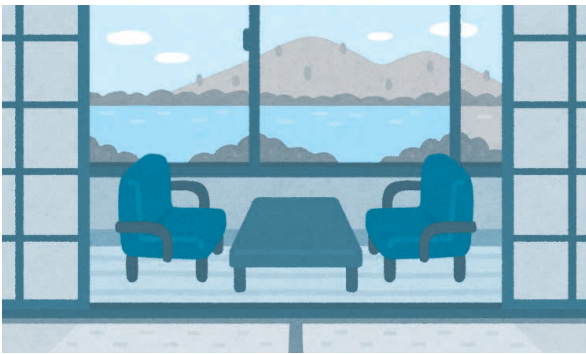
問 事業費の概要と実績に

ついて伺う。

答 新型コロナウイルスの感染拡大による、高齢者の外出の自粛疲れを癒やすとともに、営業を自粛している旅館やホテル等が活気を取り戻すことを支援するものである。

令和2年度中に65歳以上となる全高齢者を対象に、市内のホテルや温泉旅館で利用できる利用券4000円分、同時期に実施されたプレミアム付商品券6000円分の合計1万円分を配布した。

実績として、配布対象者は2万4106名で、ホテ



ル・旅館の利用券は7204万9千円の利用額、使用割合は74・72%だった。商品券は1億3872万7500円の利用額、使用割合は95・91%だった。

● 衛生費

レディースミニドック事業

問 事業実績について伺う。

答 レディースミニドックは35歳から39歳の女性市民を対象として、血液検査が行えるヤングエイジ健診、子宮頸がん検診、HPV検査、超音波検査による乳がん検診及び骨粗しょう症検診が一度に行えるセットの集団健診であり、令和2年度はコロナ禍で受診が制限されたことに伴い、実施回数11回、受診者数141名であった。

問 事業評価について伺う。

答 ヤングエイジ健診やがん検診などをセットで受けられるようにして、通常では複数の医療機関を訪れて受診しなければならぬが、レディースミニドックのセット健診で気楽に受診できる環境が整ったと考えている。まずは気軽に受診し、

若い頃から自己の健康状態を意識し、健康管理と毎日の生活習慣の改善につなげることが重要と考える。今後も継続して実施していきたい。

● 商工費

竹島水族館維持管理事業

問 昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により入場者数が減ったと思われるが、どうか。

答 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年度年間総入館者数は16万9785人となった。一昨年度の実績は38万4959人だ



竹島水族館

ったので、前年対比でおよそ44%と半分以下となった。減少した理由としては、第1波があった4月11日から5月24日までの計44日間を休館したことに加えて、感染拡大の警戒レベルに合わせて館内の入館者数の制限をしたことの影響があったと考えている。

●土木費

公園長寿命化計画策定委託料

問 公園長寿命化計画の策定に至った経緯は。

答 本市の都市公園は供用開始から30年以上経過した公園が全体の66%を占めており、老朽化が著しく、従来の事後保全型の維持管理を続けると将来の維持管理コストが懸念され、適切な維持管理の継続が困難と考えている。今後は予防保全の考えを取り入れた維持管理に転換していく。

問 調査の対象となった公園数は。

答 35箇所の公園が長寿命化計画の対象となり、遊具等施設の健全度調査を実施した。



生命の海科学館

問 公園長寿命化計画の今後の方針は。

答 令和3年度は八百富公園の施設更新を実施。今後は、計画に基づき修繕と更新を行っていく。

●教育費

生命の海科学館管理運営事業

問 プレシオ広場天井改修工事を行った理由と内容について伺う。

答 科学館の天井が老朽化し、塗装がはがれ、階下に落ちてくるという危険な事

態となったため、全面的に張り替える工事を行うこととなった。

また、開館当初からプレシオ広場に吊り下げられていた首長竜の全身骨格化石が20年以上経過しており、現在の学説にそぐわない部分が多くなってきた。

化石のリニューアルの時期を想定していたわけではないが、工事に伴い、化石を必ず取り外さなければならぬため、最新の学説を反映させた形で併せてリニューアルすることとなった。

●水道事業会計

収益的収支の状況は、1億5512万円の純利益を計上し、当年度未処分利益剰余金は1億5627万円です。

●下水道事業会計

収益的収支の状況は、1億5762万円の純利益を計上し、当年度未処分利益剰余金は4332万円です。

●病院事業会計

収益的収支の状況は、5億3067万円の純利益を計上し、当年度未処分利益剰余金は136億6894万円に減少しています。

●最近3カ年のモーターボート競走事業会計からの繰出金

会計名	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
		千円	千円	千円
一般会計		4,108,674	2,000,000	0
特別会計	土地区画整理事業	1,540,000	800,000	200,000
	下水道事業	-	-	700,000
企業会計	下水道事業	750,000	600,000	-
	病院事業	1,512,400	1,800,000	1,500,000
合計		7,911,074	5,200,000	2,400,000

※下水道事業は令和元年度から企業会計に移行しています。

●モーターボート競走事業会計

年間の売上額は1331億7503万円で、前年度比31.4%の増、本場入場人員は14.4%の減となっています。

条例の改正

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

(第53号議案)

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の改正に伴い、記録、作成など書面で行うものについて、書面に代えて、電磁的記録により行うことができることを包括的に定める改正を行います。

●文教委員会での主な質疑
問 本条例改正により、保護者にとってはどのようなメリットがあるか。

答 現在、書面で行っている保護者との連絡等をメールやスマートフォンアプリやケーシヨン等の方法で提供できるようにします。

保育士の業務改善と保護者の利便性向上の観点から保育園業務のICT化を検討しており、業務システムの導入により、保護者との連絡等がより円滑になると考えています。

問 電磁的記録を行うことで、保育事故等の記録が改ざんされてしまうおそれはないか。

答 過去の記録について改ざんを防止する設定を施すなど、ICTシステムを導

東三河都市計画蒲郡蒲南土地区画整理事業の換地処分に伴い、中央子育て支援センターの位置の表示を街区符号及び住居番号から土地の地番に改正します。
 (改正前) 蒲郡市八百富町14番2号
 (改正後) 蒲郡市八百富町二丁目36番地

●文教委員会での主な質疑

問 施行日は換地処分の公告があった日の翌日とあるが、いつごろを予定しているか。また、書類やホームページに記載されている住

(第54号議案)

●蒲郡市中央子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

答 電磁的方法による提供を希望しない方については、従来どおり書面による提供を行っています。

問 電磁的方法ではなく、書面による提供を受けるといふ選択もできるか。
 答 電磁的方法による提供を希望しない方については、従来どおり書面による提供を行っています。

■ 9月定例会で議決された令和3年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第4号)	モーターボート競走事業収益基金積立金 20億円	25億8,952万円	347億2,855万円
	新型コロナウイルス感染症対策基金積立金 1億3,620万4千円		
	新型コロナウイルス感染症対策事業費		
	W i - F i 環境等整備事業費 (勤労福祉会館、老人福祉センター、生きがいセンター、公民館) 967万円		
	新型コロナウイルスワクチン接種事業費 1億6,730万円		
	プレミアム付観光応援券発行事業費補助金 7,520万円		
	宿泊助成事業費補助金 1,860万円		
	電子書籍貸出システム導入事業費 2,371万7千円		
	非常用自家発電設備整備費補助金 1,285万5千円		
	保育用器具等購入費 10万円		
	健康教室備品購入費 30万円		
	ユトリーナ蒲郡管理運営事業費 令和2年度指定管理料増額分 190万4千円		
	農業振興事業費 経営継承・発展等支援事業費補助金 600万円		
	ため池廃止計画策定委託料 1,710万円		
	道路新設改良事業費 市道井戸ヶ沢岡1号線改良事業費 2,000万円 市道浅井新田1号線改良事業費 670万円		
	地震防災啓発事業費 避難指示等周知事業費 167万円		
	施設管理費 塩津小学校・中学校教育環境整備事業費 500万円		
遊具撤去工事費 1,480万円			
図書館管理運営事業費 空調設備改修工事費 2,700万円			
生命の海科学館管理運営事業費 小惑星探査機はやぶさ2特別展示事業費 403万7千円 海の学びミュージアムサポート事業費 300万円			
債務負担行為 事 項：東部地区支線バス運行事業 期 間：令和4年度～令和7年度 限度額：2,846万8千円 事 項：西部地区支線バス運行事業 期 間：令和4年度～令和7年度 限度額：2,744万円			
一般会計 (第5号)	新型コロナウイルス感染症対策事業費 PCRスクリーニング検査委託料 (児童発達支援センター職員等、児童クラブ職員等、公立保育園職員等、私立保育園職員等、小中学校教職員等、私立幼稚園教諭等) 7,841万円	1億251万円	348億3,106万円
	中小商工業等金融対策事業費 小規模企業等振興資金信用保証料補助金 290万円 創業等支援資金信用保証料補助金 25万円 創業資金利子補給補助金 95万円		
	中小企業緊急経済対策事業費 中小企業緊急経済対策利子補給補助金 2,000万円		
	収益的支出 医療用消耗品費 1,000万円 設備等修繕費 5,000万円 賃借料 1,000万円		
病院事業 会 計 (第1号)	資本的支出 医療器械備品購入費 7,167万円	7,000万円	96億3,170万円
		7,167万円	11億47万円

所地の変更の準備は整っているか。
 答 県が行う換地処分の公告は本年11月初旬から中旬頃を予定していると聞いています。公告の日が決まりましたら、周知の準備を行います。発行物、センター内の

揭示、ホームページ等で周知していく予定です。
 問 ナビゲーションや住宅地図の住所表記はすぐには変わらないが、その対応はどうするのか。
 答 改正後、しばらくの間は旧住所をあわせて伝え、

案内していくことを考えています。
 ●蒲郡市公立学校設置条例の一部改正について
 (第55号議案)

東三河都市計画蒲郡蒲南土地区画整理事業の換地処分に伴い、蒲郡中学校の位置の表示を街区符号及び住居番号から土地の地番に改正します。
 (改正前) 蒲郡市新井町13番18号
 (改正後) 蒲郡市新井町南1111番地

その他の議案

●教育委員会委員の任命

(第56号議案)

委員水藤頼利氏の任期が令和3年9月30日に満了することに伴い、同氏を引き続き委員に任命することに

同意しました。

●新たに土地が生じたことの確認(浜町地先公有水面)

(第57号議案)

●公有水面の埋立てに伴う町区域の変更(浜町地先公有水面)

(第58号議案)

公有水面埋立ての竣功認可に伴い、次のとおり本市の区域内に新たに土地が生じたことを確認しました。新たに生じた土地は浜町66番及び70番の地先公有水面埋立地1万7755・72㎡で本市の町区域に編入しました。

意見書

- ① コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣宛て
- ② 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣宛て
- ③ 国の私学助成の拡充に関する意見書
内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣宛て
(○内の数字は、意見書案番号)

陳情

- 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書
提出者 蒲郡市教員組合
執行委員長 小田 大悟 はじめ 348名
審査結果 採択
- 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
提出者 阪口 理恵
審査結果 採択
- 私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために蒲郡市独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書
提出者 阪口 理恵
審査結果 聞きおく
- ミャンマー国軍による自国民への弾圧・暴力の即刻停止を日本政府が働きかけるよう求める意見書を蒲郡市議会から提出することを求める陳情書
提出者 ミャンマーの人たちを支援する有志の会
代表代行 加藤 康弘
審査結果 不採択

全会一致で可決・同意・認定した議案・意見書案 (○内の数字は議案、意見書案番号)

- ⑤3 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
 - ⑤4 中央子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
 - ⑤5 公立学校設置条例の一部改正
 - ⑤6 教育委員会委員の任命
 - ⑤7 新たに土地が生じたことの確認(浜町地先公有水面)
 - ⑤8 公有水面の埋立てに伴う町区域の変更(浜町地先公有水面)
 - ⑤9 土地改良事業に伴う町及び字の区域の変更
 - ⑥0 損害賠償の額の決定及び和解
 - ⑥1 令和2年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分
 - ⑥2 令和2年度モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分
 - ⑥6 令和2年度土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定
 - ⑥8 令和2年度公共用地対策事業特別会計歳入歳出決算の認定
 - ⑥9 令和2年度三谷町財産区特別会計歳入歳出決算の認定
 - ⑦0 令和2年度西浦町財産区特別会計歳入歳出決算の認定
 - ⑦1 令和2年度水道事業会計決算の認定
 - ⑦2 令和2年度下水道事業会計決算の認定
 - ⑦3 令和2年度病院事業会計決算の認定
 - ⑦5 令和3年度一般会計補正予算(第4号)
 - ⑦6 令和3年度病院事業会計補正予算(第1号)
 - ⑦7 令和3年度一般会計補正予算(第5号)
- 意見書案② 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
意見書案③ 国の私学助成の拡充に関する意見書

賛否が分かれた議案・意見書案

○：賛成 ●：反対

議案・意見書案番号	議案・意見書案名	会派・議員名	自由民主党 蒲郡市議団					蒲郡自由クラブ				公明党 蒲郡市議団		蒲郡 市政クラブ		無会派					
			大向 正義	大場 康議	大須賀 林	喚田 孝博	鈴木 将浩	青山 義明	竹内 滋泰	尾崎 広道	鈴木 基夫	鈴木 貴晶	稲吉 郭哲	牧野 泰広	伊藤 勝美	大竹 利信	松本 昌成	新実 祥悟	鎌田 篤司	藤田 裕喜	日恵野 佳代
63	令和2年度一般会計歳入歳出決算の認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
64	令和2年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	令和2年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	令和2年度企業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	令和2年度モーターボート競走事業会計決算の認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書1	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※大向正義議員は議長職により採決には参加していません。

委員会通信

経済委員会 管内視察を行う

7月20日に開かれた経済委員会において経済委員会所管の管内視察を行いました。

背後地の整備が進む浜町のマイナス11m岸壁、令和3年度の事業完了を目指し施工中の西迫西地区圃場整備地内、及びボートレース蒲郡を視察し、説明を受けました。



西迫西地区圃場整備地内で説明を受ける経済委員

地区個別計画に基づく基本計画について

9月8日に開かれた総務委員会において、塩津地区・西浦地区の地区個別計画に基づく基本計画について報告がありました。

計画は、公共施設マネジメント実施計画に基づき策定した塩津地区及び西浦地区の地区個別計画のコンセプトや期待される効果の実現のため、機能を集合させる施設の建物配置や管理運営方法を定めました。

塩津地区では、現塩津小学校のグラウンド部分に新しい小学校校舎、保育園園舎及び公民館建物を建設します。

西浦地区では、現西浦小学校のグラウンド部分に新しい小中学校校舎及び公民館建物を建設します。

いずれの地区も、施設統合のため、地域住民が入ることができるエリアとでき

ないエリアの境界をセキユリテイラインとして、授業時と休日、放課後ごとに設定することで子供たちの安全確保とともに、施設の相互利用による活動、交流の活性化の両立を図ります。また、災害時に避難所となることを前提に、必要な機能を確保していきます。

東港地区まちづくりビジョンについて

9月9日に開かれた経済委員会において、東港地区まちづくりビジョンについて報告がありました。

このビジョンは竹島ふ頭や東港の埋立地を含む蒲郡駅から竹島周辺までの一帯を対象とした「東港地区」と地区内の各エリアが目指す、まちづくりの方向性と進め方を示すものです。市民、事業者、行政などがそれぞれの役割や立場で取り組む際の羅針盤となります。将来像については「竹島が浮かぶ三河湾に抱かれた、誰もが過ごしたくなる居心地の良いまち」としていま

東三河広域連合議会

8月11日、12日に東三河広域連合議会8月定例会が開催されました。今定例会では、令和2年度一般会計歳入歳出決算など計3議案を可決・認定しました。
また、6人の議員が一般質問を行い、蒲郡市選出の柴田安彦議員が東三河広域連合の取組について質問をしました。

12月定例会予定

12月市議会定例会は、11月30日(火)に開会する予定です。

議会日誌

6月24日から9月24日

7月

- 20日 経済委員会管内視察
- 28日 議会運営委員会理事会

8月

- 19日 議会運営委員会理事会
議会だより編集委員会
- 23日 9月定例会招集告示
議案説明会

- 26日 議会運営委員会理事会
議会運営委員会

9月

- 3日～24日 9月定例会
- 24日 議会だより編集委員会
議会運営委員会理事会

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ版・CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力

議会だよりは点字版、テープ版・CD版も発行しています

詳しい日程は、11月26日(金)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。なお、本会議の日程と一般質問の内容は、市役所1階ロビーや市議会ホームページでもお知らせします。
本会議の傍聴を希望される方は、会議の当日、市役所新館7階の議会事務局で手続きをしてください。



市民の皆様には、コロナ禍において約2年間、しっかりと感染拡大防止策を講じていただき本市も少し落ち着いてきています。お一人お一人の取組に対して心から感謝とお礼を申し上げます。

国は9月30日をもって、緊急事態宣言を解除しました。ただし、県は独自の厳重警戒措置を10月17日まで実施して、「マスク着用・手指消毒・三密回避・換気徹底」を再徹底しました。市議会も会議に当たっては、基本の感染予防対策を講じて臨んでいます。

蒲郡市議会憲章に、「議会は、行政の監視機関として、透明性の確保、自由闊達な議論及び政策立案機能の充実を図り、地域の発展を目指していく」と議会の使命が規定されており、全議員の共通認識であります。

9月定例会も議案の審議と一般質問及び令和2年度の決算審査が慎重に審議され、すべて可決・同意・認定されました。

この議会だよりに対するご意見やご要望などございましたら気兼ねなくお知らせいただければ幸いです。

議会だよりをスマホへ配信します！

下のコードを読み込むか「マチイロ」で検索

無料です！



で発行されています。また、議会だよりは蒲郡駅(観光交流センターナビテラス)、市民病院、市立図書館にも置いてあります。

今月の表紙 形原漁港大橋(ブルーブリッジ)

形原漁港の中心部と北側を結ぶ形原漁港大橋はブルーブリッジとも呼ばれ、青い欄干にはヨットやカモメ、魚の装飾が施されており、橋からは穏やかな三河湾の風景を一望できます。

天気のいい日には潮風を感じながらウォーキングでもしてみませんか。

